

2018 年度

ロシア留学報告書

留学先：ウラジオストク国立経済サービス大学

留学期間：8月27日(月)～12月27日(木)

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21017002

朝夷優花

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学の目的	3
4	留学内容	4
	4・1 留学のスケジュール	4
	4・2 留学の詳細	5
5	当初の目的への達成度	13
6	反省・課題	13
	謝辞	13

付録

	授業、留学生活について	14
--	-------------	----

1 留学先及び実習期間

留学先：ウラジオストク国立経済大学

留学期間：平成 30 年 8 月 27 日(月)～12 月 27 日(木)

2 留学先概要

(1)大学について

ウラジオストク国立経済サービス大学は、ロシアの極東部にあるウラジオストクの市内中心部に位置する。1967 年に開学し、学生数は 1 万人を超える。8 つの学部を擁し、ウラジオストク国立経済サービス大学はウラジオストクにおける最高水準の教育機関のひとつである。学内には、屋内プールと体育館、スタジオ、銀行、学生用のカフェや食堂が多くあり充実した施設である。ロシア人の学生が多い一方で韓国、中国、北朝鮮、ラオス、アメリカ、オーストラリアの学生など様々な国籍を持つ学生がいる。

(2)大学で行われる教育について

ウラジオストク国立経済サービス大学はロシア連邦教育省からいくつもの賞を受けるなど質の高い教育だと言える。我々留学生の授業では、事前にテストをおこない自分の力にあったクラスで勉強することができる。少人数で発言する機会が多い。

3 留学目的

留学目的は二つある。一つはロシア語の能力を向上させることである。1 年生の後期からロシア語の基礎を学びはじめたが話す力や聞く力が足りないと感じた。先生か授業を受けている友人とでしかロシア語を話す機会がなく、日本ではロシア語に触れる機会がとても少ないと感じた。ロシアで生活して日常的にロシア語に触れることで話す力、聞く力などをのばせると考えた。

二つ目はロシア文化を体験することである。異文化を体験することは自分の視野を広げて物事を考える大切さを理解するきっかけになる。インターネットの情報からではなくロシアで生活し、ロシア文化を体験することで実際のロシア文化を学び、自国の文化を見つめ直しながら自分の視野を広げることができると思った。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記録する。

4・1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
8	28(火)		到着及び入寮
	29(水)	学生証作り	
	30(木)	健康診断	市内観光
	31(金)	クラス分けテスト	
9	2(日)	市内・ルースキー島観光	
	3(月)	授業開始	
	15(土)	トカレフスキー灯台を観光	
	24(月)	日本語の授業見学	
	27(木)		美術館見学
	30(日)	虎の日	パレード参加
10	5(金)	留学生オリエンテーション	
	6(土)	サーカス鑑賞	美術館見学
	12(金)	スポーツ大会	
	24(水)		潜水艦博物館見学
	28(日)		オペラ鑑賞
11	5(月)	授業振替休日	
	10(土)		バレエ鑑賞
	15(木)		歌の発表会
	24(水)		スケート
12	8(土)	美術館見学	
	12(水)	長文読解テスト	
	13(木)	会話テスト	音楽テスト
	14(金)		歴史テスト

	17(月)	聞き取り・文法テスト	地理テスト
	18(火)	文章表現テスト	美術テスト
	20(木)		お茶会
			自然公園で雪遊び
	25(火)		クリスマス会・成績授与
	26(水)		退寮の準備
	27(木)	退寮	帰国

4・2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

○8月28日(火)到着及び入寮

日本時間で18時過ぎにウラジオストク国際空港に到着した。入国審査をすませてプラーソル先生と合流し、寮へ向かった。寮に到着した後、部屋割りが発表されプラーソル先生と夕飯や水を買いに近くのスーパーに行った。お金は事前に成田空港で一万円をルーブルに両替した。

○8月29日(水)学生証作り

朝食を学内のカフェですませた。10時頃学生証を作るために先生と発行手数料の支払い250ルーブルをクレジットカードで払った。支払いはクレジットカードのみである。払い終わったら学生証の写真撮影をおこない、昼食を学内の食堂ですませた。この日に先輩方が残した調理器具などをもらい皆で確認した。まな板、包丁、ハンガー、スプーン、皿、鍋やフライパンなどが入っていた。

○8月30日(木)健康診断・市内観光

午前中に650ルーブルを払い健康診断を受けた。健康診断を終えたらマリーナ先生と市内を観光した。

○8月31日(金)クラス分けテスト

10時過ぎにクラス分けテストをパソコンを使っておこなった。内容は文法問題と長文問題であった。お昼にプラーソル先生が寮にいらっしゃって、寮の管理人の方と洗濯やキッチンなどについて説明して下さった。

○9月2日(日)市内・ルースキー島観光

11時からバスに乗ってルースキー島に行った。極東連邦大学のまわりを散歩した後、昼食を構内の食堂ですませた。町の中心部へ戻り、港の周りを歩き買い物をした。



○9月3日(月)授業開始

クラス分けが終わるまでの一週間限定で日本人のみで授業がおこなわれた。先生方はとても優しいので、発言しやすい環境だった。美術、音楽、地理、歴史は継続して日本人のみの授業である。

○9月15日(土)トカレフスキー灯台を観光

マリーナ先生とトカレフスキー灯台へ行った。灯台へまで長時間歩くため、歩きやすい靴と風が強いので羽織を持っていくとよい。



○9月21日(金)日本語の授業見学

日本語を勉強しているロシアの学生に日本語を教えたり、軽いゲームをした。日本語だけでなくロシア語に文や単語をなおして、私たちも一緒に勉強することができた。

○美術館見学

ウラジオストクには美術館や博物館が多く、ロシア極東部で最も歴史がある最大の博物館もある。沿海地方やウラジオストク市の歴史について知ることができる。





○9月30日(日)虎の日

極東に生息するアムールトラなど自然保護への関心を高めるためのイベント。ウラジオストク国立経済大学の学生と一緒にパレードに参加した。



○10月5日留学生オリエンテーション

留学生全員で電車に乗ってピクニックへ行きオリエンテーションをした。ロシア語を使ったゲームをしながら他国の留学生と交流することができた。



○10月6日サーカス鑑賞

500ルーブルでサーカスを観に行った。動物達が火の輪をくぐり、空中ブランコやジャグリングなどダイナミックなものが多くとても楽しめた。



○10月12日スポーツ大会

我々の大学と他の大学の学生でスポーツ大会が行われた。私たち日本人からは一人、水泳に参加した。応援用のプラカードを作成した。



○10月24日(水)潜水艦博物館見学

ロシアの学生二人と潜水艦博物館を見学した。実際に潜水艦に入り、操縦室や魚雷などを見ることができる。

○10月28日(日)オペラ鑑賞

オペラ「カルメン」を500ルーブルで観た。日本よりはるかに安く観ることができ、音楽や衣装も素晴らしいものであった。

○11月10日(土)バレエ鑑賞

バレエ「くるみ割り人形」を観た。一切セリフがないがストーリーが世界観や踊りで伝わった。事前にストーリーを調べて行くとさらに理解しやすく楽しめる。踊りや衣装がとても美しいものであった。



○11月15日(木)歌の発表会

この日は大学の音楽イベントで私たちは、音楽の授業で勉強した2曲を歌った。男女1名ずつソリストになって歌う。歌詞をしっかり覚える必要がある。



○11月24日(水)スケート

韓国人の留学生と一緒にスケートを楽しんだ。全くできない人でも補助具を使って滑ることができる。

○12月12日(水)～12月18日(火)テスト

地理以外事前にテストの日を伝えられ、テストを受けた。しっかりと授業でやった内容を復習すれば高得点をとれる。文法と聞き取りのテストはパソコンで行った。

○12月20日(木)お茶会

韓国の学生と先生方とお茶会をした。ロシアのお茶事情を先生から教わりながら、お菓子とお茶をいただいた。最後に日本人、韓国人、先生方がそれぞれ自国の歌を歌った。

○12月21日(金)自然公園で雪遊び

スベトラーナ先生と韓国の学生と一緒にバスに乗って自然公園で雪遊びをした。そのを使って滑ったりカフェでロシア伝統のサラダを食べたり、とても楽しい時間であった。

○12月25日(火)クリスマス会・成績授与

韓国の学生とロシアのクリスマスについて学びながらゲームをした。その後それぞれ先生から成績を受け取って終了した。



○12月26日(水)退寮の準備

部屋の片づけをおこなった。冷蔵庫にある調味料などを寮の管理人や掃除婦の方にあげた。

○12月27日(木)退寮・帰国

寮にいる学生にお別れを告げて退寮した。バスでウラジオストク国際空港に行き帰国審査を受け無事に成田空港に着いた。

5 当初の目的への達成度

まず一つの目的であったロシア語の能力を向上させることについてである。

最初の一か月は全くロシア語が聞き取れず理解できなかったが勉強していくうちに、会話を続けたり聞き取ることができ能力がのびたと実感した。これからもロシア語の勉強を続けていきたい。

二つ目はロシア文化を体験することである。

ロシアで生活することで食文化や芸術文化などを体験することができた。ロシア飲食店で伝統的な料理を食べ、自分でレシピをみながら作ることができた。音楽の授業では伝統の楽器を使って演奏したり美術の授業では伝統工芸品を知ることができた。特にバレエやオペラはとても美しく感動した。他にも韓国の学生と交流することも多く韓国文化も知ることができた。

6 反省・課題

今回 4 か月ロシアで生活して毎日が刺激的な日々であった。四か月で学んだことを忘れないためにも、ロシア語の勉強にこれからも励んでいきたい。またロシアの文化を体験することで日本の文化を見直すきっかけにもつながった。これからは多角的な視点で物事をみていきたい。最後に、初めて親元を離れて生活したことで家族への感謝の気持ちが深まった。これまで以上に周りに感謝して生活していきたい。

謝辞

この度ウラジオストク国立経済大学で指導して下さった先生方、留学前から帰国後までサポートして下さった新潟国際情報大学の先生方。その他大勢の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また新潟国際情報大学からいただきました奨学金により今回の留学が実現し、貴重な経験ができたことを深く感謝申し上げます。

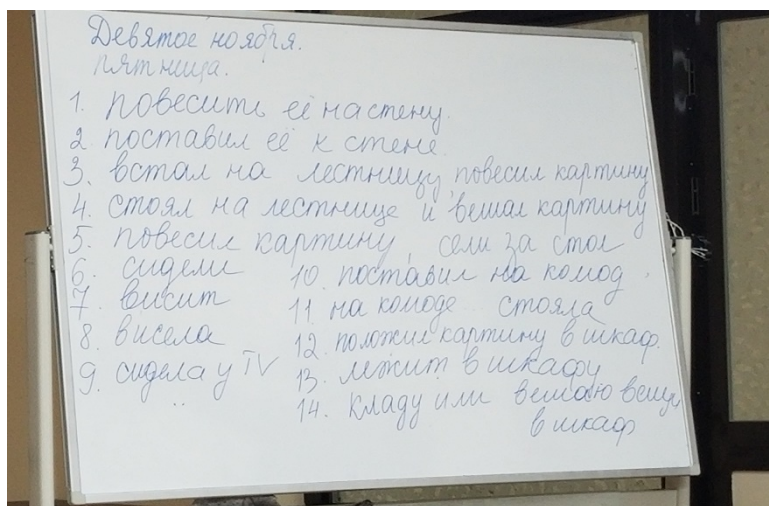
付録

授業の時間割、内容

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限 8:30~10:00	聞き取り	会話	会話	文法	文法
2 限 10:10~11:40	長文読解	文章表現	長文読解	会話	聞き取り
3 限 11:50~13:20					
4 限 13:30~15:00	地理	美術		音楽	歴史

○聞き取り

発音の練習をしながら音声で流れたロシア語の単語や会話を空欄に埋めていく練習をした。聞く力だけではなく素早く正確にロシア語を書く力も必要になる。諦めずに聞く姿勢が大切である。



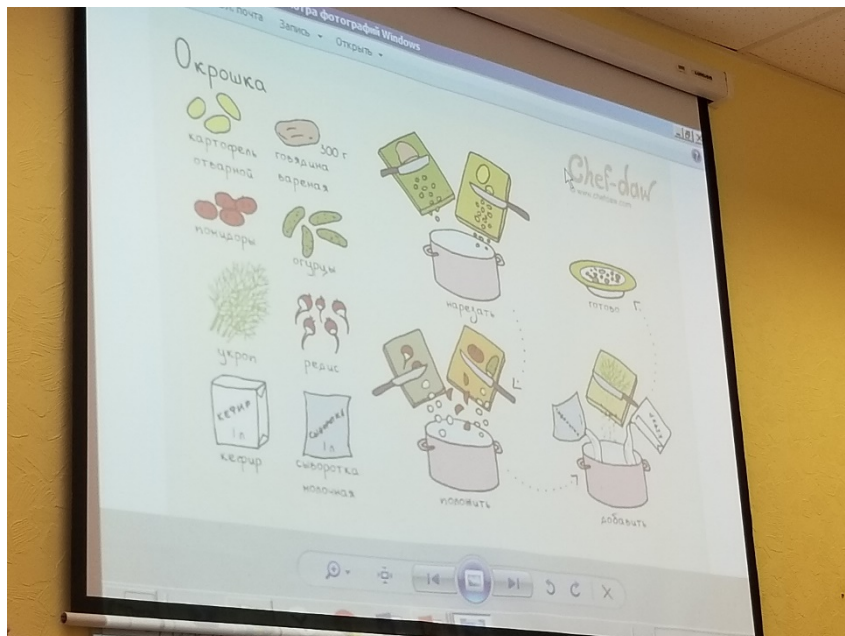
左の写真は授業中に聞き取った単語や文を先生が書いたものである。カメラで取って後から復習することも多くあった。

○長文読解

長文を読み問題に答えていく。速読力と読解力が必要になる。慣れていくと一度に複数の長文を読んで先生の質問に答えたり露作文などもおこなった。

○会話

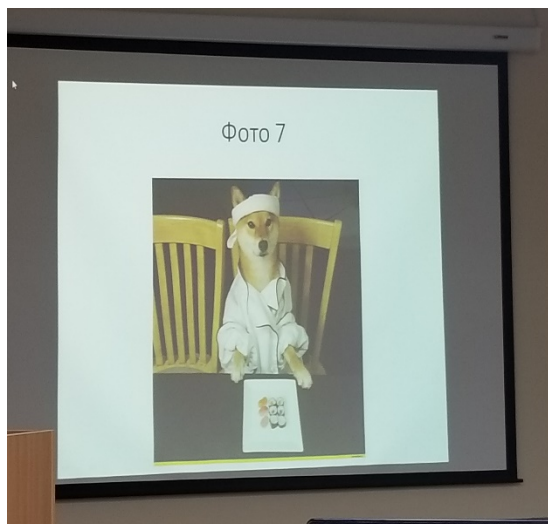
日常的に使われる単語を覚え、会話をしながら話す力を鍛える。テーマを決めてそれに関わる会話を学ぶ。家族や病院、都市などのテーマであった。テーマに沿ってパワーポイントを使って発表した。



左の写真はオクローシカのレシピである。ロシア伝統料理を学び、作り方の説明をペアになって行った。

○文章表現

手紙やメールの書き方、間接話法や直接話法などを学んだ。宿題では写真を見て物語を自分で考えてくるものがあった。



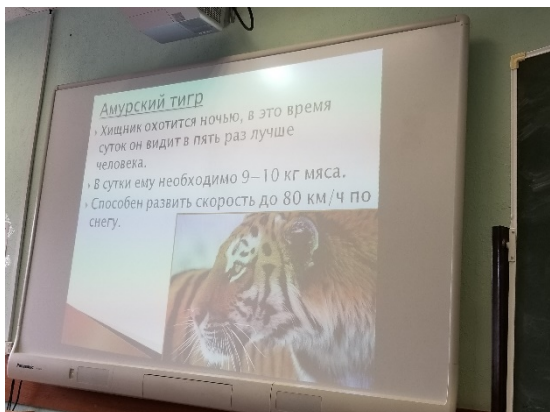
左の写真は授業中使ったものである。写真の説明を文章化した。

○文法

格変化を中心に学ぶ。歌や短いドラマを使って勉強したりそれぞれ格変化を学んだ後は、会話をしながら正しい形になおしていった。

○地理

ロシア極東部の自然や動物、資源などを学んだ。知らない単語が多く出てくるため、復習をしっかりとする必要がある。スライドを使ってノートを取りながら勉強した。



○美術

毎回の授業で絵を描いたり、ロシアの伝統衣装、有名な画家や工芸品を学んだ。絵を描き終わらないと宿題になる。先生と美術館に行くこともありとても楽しい授業の一つであった。



左の写真はデザインを学ぶロシアの学生と一緒に書いたものである。

○音楽

毎回の授業でロシアの曲を歌った。ロシアの伝統的な楽器や作曲家も学ぶことができる。歌の発表会があったため、しっかりと歌詞を覚える必要があった。

○歴史

10世紀~15世紀でロシアで活躍した人物を中心に学んだ。知らない単語が多く出てくるため、予習と復習に時間がとてもかかる。毎回前回の授業で教わった内容を聞かれた。

留学生活について

○寮生活

寮には管理人と警備の方が常に同じフロアにいるため、何か心配事や困ったことがあれば相談することもでき安心して生活できる。大学と寮がつながっているため寒い中、外を歩かず6分程度で授業を受ける教室につくことができた。2人部屋には、シャワー室、洗面台、ベッド2台、長机、椅子2台、冷蔵庫、クローゼット、整理棚があった。掃除は平日に毎日授業をしている間、掃除をしてくれる。毎週水曜日になると新しいベッドカバーやシーツ、枕カバーが部屋に置いてあるため、自分で交換して次の日に使った古いものを持って行ってくれた。キッチン共同で使うため、他の学生と交流できる場でもあった。洗濯物は管理人の方に80ルーブルを渡し名前を記入してから洗剤をもらって洗濯することができた。自分で勝手にしてはいけない。貴重品の管理はキャリーケースに入れて鍵をかけることを勧める。トラブルが起きないためにも洗濯物は洗濯部屋で乾かさず、自分の部屋で乾かすことも勧めたい。10月24日から暖房がついたが、半そで短パンで過ごすのは寒く感じた。キッチンでは窓を開けて料理をするため冬は非常に寒い中ご飯を作った。寮生活で一番苦労したことは、ゴキブリの駆除である。小さいもののゴキブリが結構部屋にいるため殺虫剤を近くのスーパーで買う必要がある。

○平日・休日の過ごし方

平日は授業を受けた後、スーパーに行って買い物をした後ご飯を作り、自分の部屋で勉強することが多かった。休日は町にでかけることが多く、カフェ巡りをしたり美術館やカラオケなど様々な場所に行くことが多かった。

